

# 研究に関する情報公開(オプトアウト)

日本循環器学会では循環器診療の実態調査を行って診療実態を具体的な数で把握するためのデータベースを構築する調査研究「循環器疾患診療実態調査(JROAD)」を行っております。当院でも本件の調査協力を実施しております。

この研究の対象者となることを拒否される場合は、以下の連絡先までご連絡願います。もちろん、拒否により不利益が生じることはありません。

## 1. 研究の名称

### レセプトおよび DPCデータ<sup>注)</sup>を用いた心疾患における医療の質に関する研究

注)DPC(包括医療費支払い制度)とは:従来の診療行為ごとの点数をもとに計算する「出来高払い方式」とは異なり、入院期間中に治療した病気の中で最も医療資源を投入した一疾患のみに厚生労働省が定めた1日当たりの定額の点数からなる包括評価部分(入院基本料、検査、投薬、注射、画像診断など)と、従来どおりの出来高評価部分(手術、胃カメラ、リハビリなど)を組み合わせで計算する方式です。

## 2. 対象となる方

2017年4月1日～2018年3月31日の期間に当院に入院された全ての患者様

## 3. 研究の背景

全国の循環器疾患の診療実態を記述した統計はなく、その診療実態は不明な点が多いと考えられています。諸外国では定期的にデータを取得し、モニタリングを行うことで診療の質を向上させようとする試みがありますが、日本にはまだそのようなデータベースは存在しません。

## 4. 研究の目的

JROAD 調査施設の中からDPC データ(病名や診療行為の明細が含まれています)を集め、データベースを作成します。得られたデータに基づいて、医療の質を向上するのに必要な情報を循環器学会員へ発信し、循環器診療の質を向上させるための基本的な資料とすることを目的としています。

## 5. 研究の方法

この研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のもとに実施されます。使用するデータベースは匿名化処理がされており、個人情報提供されることはなく、個人情報を扱うことはいたしません。したがって対象者の方の個人情報が漏れることはありません。研究結果は個人が特定できない形式で学会等に発表されます。収集する項目は、性別・入院時年齢、入院時診断名・入院時併存症病名・入院後合併症病名とそれらのICD-10<sup>注)</sup>コード、手術処置名、実施日、使用された薬剤・医療材料、在院日数、退院時転帰、費用などの情報です。さらに詳細な項目内容についてご質問があれば、下記までご連絡ください。

注)ICD-10 コード: 疾病および関連保険問題の国際統計分類

## 6. 研究代表者

一般財団法人 日本循環器学会 代表理事 小室 一成

## 7. データの管理

収集したデータは国立循環器病研究センター循環器病統合情報センターにて厳重な管理のもと保存されます。ご不明な点があれば、下記までお尋ねください。

## 8. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名および問い合わせ先

連絡先: 白河厚生総合病院 第二内科 斎藤 富善

電話: 0248-22-2211